

和歌山県立文書館は、平成26年度から県立博物館、県教育庁文化遺産課、和歌山大学、歴史資料保全ネット・わかやまなどとともに「地域に眠る『災害の記憶』と文化遺産を発掘・共有・継承する事業」に参加しています。

同事業は、各年度ごとに対象地域を定め、各地の過去の災害（地震・津波・水害など）に関する記録・記念碑・言い伝え・痕跡・遺跡を中心に、未指定のものを含む文化財の所在確認調査などを行うものです。

この展示では、同事業で調査した津波に関する石碑と古文書の一部を取り上げます。石碑については同事業で採取した拓本のパネル展示により、古文書は閲覧室で原本を展示して御紹介します。

先人達が私達に伝えるために残した「災害の記憶」を思い起こし、未来の災害に備える参考としていただければ幸いです。